

能代市教育委員会 事務点検・評価報告書

(平成24年度対象)

平成25年8月

能代市教育委員会

<参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定による事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

I 点検・評価の趣旨等	1
1 点検・評価の趣旨	
2 点検・評価の対象	
3 学識経験者の知見の活用	
4 報告書の作成	
II 点検・評価の結果	
1 教育行政	
(1) 教育環境の整備	3
2 学校教育	
(1) - 1 主体的で創意に満ちた教育活動の推進	5
(1) - 2 主体的で創意に満ちた教育活動の推進（ふるさと教育）	8
(2) 基礎学力の向上を図る学習指導	11
(3) 心豊かでたくましい子どもをはぐくむ指導	13
(4) 幅広い識見と実践的指導力を培う教職員の研修	16
3 社会教育	
(1) 生涯学習推進・社会教育振興	19
(2) 文化芸術活動の振興と文化財の保存・継承	22
(3) 生活や地域における課題解決のための学習機会の提供	24
(4) 芸術文化の振興と福祉の増進を図る	27
(5) 図書館サービスの充実	30
(6) 気軽に交流できる環境づくり	34
4 市民体育	
(1) スポーツを楽しめる環境を整える	36
III 教育委員会の運営状況	
(1) 教育委員会の開催状況	39
(2) 教育委員の活動状況	40

I 点検・評価の趣旨等

1 点検・評価の趣旨

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され、「教育委員会の責任体制の明確化」を目的として、同法第27条に「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等」が規定されました。

この規定により、平成20年4月から、すべての自治体の教育委員会自らが、毎年、その教育行政事務の管理及び執行状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、これを公表することが義務付けられました。

そこで、本市教育委員会は、当該法律の規定により、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすため、事業の点検及び評価を実施し、その結果を報告書にまとめ、議会に提出するとともに公表いたします。

今年度においても、法律の規定に基づき、事業の点検・評価を実施し、昨年度との比較等を行い、今後のより効率的で効果的な事業の展開に資するものとします。

2 点検・評価の対象

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条で教育委員会の職務権限とされている事務のほか、本市教育委員会が所管するすべての事務を対象としますが、実際の点検・評価にあたっては、「能代市の教育」に記載されている施策を13項目に集約し、実施しております。

3 学識経験者の知見の活用

点検・評価の客観性を確保するため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第2項で、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることが求められておりますので、本市教育委員会では、教育に関し学識経験を有する次の2名の方から、意見をいただきました。

- 秋田大学教育文化学部教授 佐藤修司氏
- 前能代第二中学校校長 佐藤敬顕氏

4 報告書の作成

報告書の作成スケジュールは、次のとおりです。

- ①各課及び施設等において、所管事務の点検・評価案（点検・評価シート）を作成
- ②学識経験者から、点検・評価案について意見を聴取
- ③点検・評価案に学識経験者の意見を加えて、報告書として作成
- ④教育委員会8月定例会で、報告書について議決
- ⑤報告書を9月議会に提出するとともに、ホームページ等で公表

Ⅱ 点検・評価の結果

1 教育行政

【教育総務課】

施策の項目	(1) 教育環境の整備
方針・目標	老朽化した小学校プールの改築事業の推進 社会教育施設等の耐震化の推進
目標値	小学校プールの改築 2校 文化会館・中央公民館の耐震診断
事務事業の実績	老朽化した小学校プールの改築事業の推進 ○第五小学校、浅内小学校のプール改築事業 ・プール実施設計業務委託完了 ・旧プール解体工事完成 ・プール建設工事 (H24.11～H25.6) 社会教育施設等の耐震化の推進 ○文化会館・中央公民館の耐震診断 ・耐震診断を実施した結果、耐震基準を満たしていた。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る [説明] 老朽化した小学校プールの改築事業の推進については、2校のプール改築事業が予定通り進んでいる。 社会教育施設等の耐震化の推進については、文化会館・中央公民館の耐震診断を行った結果、I s 値※が 0.75 以上で耐震基準を満たしている。 以上により、目標どおり事業を実施した。 ※ I s 値 (構造耐震指標) 今回の診断にあたっては、通常、不特定多数が利用する施設で、災害時には避難施設として使用されることから、I s 値が 0.75 以上かで耐震補強の必要を確認した。
課題及び今後の取組の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他 () [具体的な課題及び取組] ・老朽化した小学校プールの改築事業については、2校のプール建設工事を平成25年6月に完成する。 ・淳城西小学校プール(S43.7 開設)の改修について検討する。 ・社会教育施設等の耐震化の推進については、二ツ井公民館、向能代公民館、東部公民館及びB & G 体育館の耐震診断を実施し、施設の安全性を確保していく。

<p>学 識 経 験 者 の 意 見</p>	<p>① 今後とも充実した教育環境を実現し、児童生徒の安全を確保するため、プール等の改築・改修に計画的に取り組んでいただきたい。</p> <p>② 社会教育施設等についても利用者の安全とともに、災害時の避難所等としての機能を高めるため、耐震診断・補強等に計画的かつ早期に取り組んでいただきたい。</p> <p>㊦ 第五小学校、浅内小学校のプール改築については、当初の計画通り平成25年6月中に完成したとのことで、子どもたちの喜ぶ姿が見えるようである。淳城西小学校のプールの改修についても、検討をお願いしたい。</p> <p>㊧ 文化会館、中央公民館とも耐震診断の結果、基準を満たしていたとのことで、何よりと思う。今後は、他の公民館や体育館についても速やかに耐震診断を実施し、その結果をもとに適切に対応してほしい。 特に、公民館の多くは、地域の避難所として指定されており、早めの対応をお願いしたい。</p> <p>㊨ グラウンドの芝生化については、すでに実施している第四小学校と二ツ井小学校での効果を検証し、他の小・中学校にも順次、広めてほしい。</p>
----------------------------	--

施策の項目	(1) - 1 主体的で、創意に満ちた教育活動の推進
方針・目標	児童生徒の感性を磨き、思考力や表現力を高め、創造力を豊かにするため、各校の年間計画の策定を進めるとともに学校図書館図書の充実を図りながら、読書活動を推進する。
目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての小・中学校が自校の特色を生かした上で読書活動の充実を図り、平成24年度の全国学力・学習状況調査の質問紙調査で「読書が好きですか」の割合について、「好き」を80%以上にする。 ・学校図書館の図書の新規購入及び廃棄等の整理を進め図書の充実を図る。
事務事業の実績	<p>① 「能代市小中学校における読書活動推進計画」に基づいた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各校の読書活動指導計画の作成（7/27集約完了） ・能代市読書交流パンフレット「能代っ子おすすめの一冊・心の一冊」を11月の読書週間に合わせて作成し、各校に配布。環境を整えるための掲示としても活用 ・各校の特色ある読書を共有し、児童生徒の指導に生かすために、読書活動実践事例集を発行 ・特色ある読書活動を教育情報誌「教育のしろ」のコラム「読みの風景」等で紹介 ・学校図書事務補助員及び図書館担当教諭の研修機会の実施（5/18 読書活動推進研修会を市立図書館と連携して実施。秋田県立図書館職員の方を講師に学校図書館の館内展示についての研修会、各校の創意ある読書活動、授業における調べ学習のための環境整備について情報交換を実施 ・学校支援ボランティアの活用促進（9小学校3中学校に9名が活動） 他にPTA等の読み聞かせ（全12小学校）、中学生の幼稚園等への読み聞かせ活動（3校：一中、二中、東雲中） ・市立図書館等との連携 学校への本の貸し出し、館内見学（6校：西小、南小、四小、崇徳小、浅内小、二ツ井小）や職場体験（3校：一中、東雲中、南中）、出前おはなし会（5校：朴瀬小、竹生小、崇徳小、浅内小、常盤小）の実施 ・「こども読書の日」に合わせ、図書の紹介（朴瀬小、常盤中）や読書指導（二ツ井中）、読み聞かせ（竹生小、崇徳小）、図書紹介集会（一中）、読書推進標語の募集と紹介（能代東中）を実施 ・秋田県学習状況調査によると1か月に5冊以上本を読む割合は、小学4年で70.2%（県62.2%）、小学5年で56.1%（県51.0%）、小学6年で41.8%（県42.4%）、中学1年で24.9%（県27.4%）、中学2年で20.7%（県22.9%）であり、学年が上がるにつれて読書の時間を確保するのが困難 <p>② 学校図書館図書標準達成状況の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校図書館図書標準」の達成を目標とし、各校の学校図書館図書標準達成状況に応じた、図書整備費を措置。適切な配置と廃棄を各校に助言

<p>点 検 評 価</p>	<p> <input type="checkbox"/>目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/>目標をやや下回る <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る </p> <p>[説明]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書を好む小学生は79.1%（H23より6.2ポイントダウン、秋田県79.6% 全国72.6%）で未達成、中学生は82.7%（H23より6.5ポイントアップ、秋田県79.0% 全国69.7%）で達成となっており、特に小学生は県平均と同程度であるが前年度よりダウンした。その年度における集団の傾向による差異が要因と予想される。 ・読書活動推進研修会后、学校図書館の中に学習に関連した図書を集めたコーナーを設け、調べ学習に対応できるようにしている学校が増えてきている。また、国語科における本の比べ読みや社会科や総合的な学習の時間における図書を活用した調べ学習が充実してきている。 ・全小・中学校で、朝か昼に全校で一斉読書を実施している。新聞を活用したり、購入する本のアンケートをとったりするなど、特色のある読書活動が増えてきている。特に、二中では、新聞を活用した学習（NIE）を実践し、新聞記事を切り抜いて自分の感想文を書いたり、大事な言葉を抜き出して要点をまとめたりする学習を重ね、読解力や思考力、表現力の向上につながっている。 ・さまざまな読み手による計画的な読み聞かせは、児童の楽しみな読書活動となっており、読書への関心を高めている。 ・学校図書事務補助員は、全小・中学校に対して配置し、児童生徒の読書指導や図書館の管理・運営、市立図書館との連携等において補助にあたっており効果を上げている。 ・平成23年度の学校図書館標準達成状況は84.8%であったが平成24年度は87.3%に向上している。
<p>課 題 及 び 今後の取組の 方 向 性</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/>拡充 <input type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他（ ） </p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書を好む小学生の割合を高めるために、児童の実態に応じて図書館教育の具体的な施策を改善したり、国語の読書単元において読書への関心や態度を育む指導を充実させたりしていくよう指導する。 ・新学習指導要領では、学校図書館の学習センター機能の充実を重視しているため、各教科等の指導計画に図書館の活用場面を位置づけるよう指導する。 ・各校において、児童生徒の図書の貸出冊数や図書館利用数を増やすための手立て（チャレンジ読書や読書のあしあとなど）が必要である。そのため、読書活動推進研修会において、各校の情報交換や研修内容を充実させる。 ・学校担当教諭と学校図書事務補助員の情報交換・協議する場を読書活動推進研修会で設定し、協働による読書活動の推進を働きかける。 ・魅力ある学校図書館環境を目指すために、学校図書事務補助員が他校の図書館をお互いに見学する機会を設定する。 ・学校図書館標準達成状況を向上させるために、図書の整理整頓に努めるとともに、廃棄する図書を厳選し必要な図書の補充を行っていくよう指導する。

<p>学識経験者の意見</p>	<p>① 読書活動の充実のために有意義なさまざまな活動が取り組まれており、高く評価できる。今後、「読書を好む」割合のアップダウンについて、学年単位、学校単位等でのきめ細かな分析と対策を期待したい。また、教職員自身も読書（教育に関わるものも含めて）に主体的、意欲的に取り組めるような条件整備（時間確保等）を期待する。</p> <p>② 学校図書館標準の達成状況については、今後ともその引き上げに取り組んでいただきたい。</p> <p>① 読書交流パンフレット「能代っ子おすすめの一冊・心の一冊」の作成・配布は、これまでにない新しい取組で、読書活動を推進するうえで効果的であったと思う。</p> <p>② 近隣の学校の図書事務補助員の交流の場を設けることによって、互いの図書館の状況を見合い、図書館経営について情報交換できている。</p> <p>③ すべての小・中学校で日常的に全校読書の時間が設けられ、子どもたちが本に親しむことができるようになっている。</p> <p>④ 子どもたちに新聞をもっと読ませたいものである。「読むこと」を充実させるために、授業での新聞の活用を推進してほしい。</p>
-----------------	---

施策の項目	(1) - 2 主体的で創意に満ちた教育活動の推進 (ふるさと教育)
方針・目標	児童生徒が地域の自然や人間、社会、文化等と触れ合う機会を重視することにより、ふるさとのよさの発見やふるさとへの愛着心の醸成を目指すために、各校のふるさと教育の趣旨を生かした教育計画づくりや人々とのかかわりから学ぶ体験活動を推進する。
目標値	本校と地域の特色を生かしたふるさと教育が実施できる計画を作り、ふるさとの良さを生かした学習活動を行う。
事務事業の実績	<p>① 地域の自然や人間、社会、文化を生かした教育計画づくりに基づいた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ふるさと教育の趣旨を生かした教育計画づくりの呼びかけと各校の教育計画の確認 ・ 小学校で「ふるさと学習交流会」、中学校で「能代っ子中学生ふるさと会議」を開催 ・ 特色ある教育活動を教育情報誌「教育のしろ」「ふいご」等で紹介 <p>② 人々とのかかわりから学ぶ体験活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校支援ボランティアを活用した体験活動 ・ 助成金制度（常盤小・中の森林環境学習や鶴形小の地域活性化推進事業等）を活用した体験活動の推進
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る
	<p>[説明]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各校とも、ふるさと教育の趣旨を生かした特色ある教育計画を策定している。 ・ ふるさと学習交流会では、淳城南小や朴瀬小の農園活動、向能代小の向能代マップ作り、常盤小の学校林活動など市内の全小学校がそれぞれの地域に関して学習した内容を発表した。発表自体もすばらしかったが、互いの実践を紹介しあい、質問したり感想を交流しあったりすることによって、他の地域のよさに気づいたり、他の学校の取り組みについて理解を深めることができた。保護者や参観した市民の方々から今まで知らなかった地域のよさを発見できた、子どもたちの発表の仕方がとても立派であった等の感想が寄せられた。 ・ 能代っ子中学生ふるさと会議では、教育職について学習した能代一中の発表や農業について学習した東雲中の発表等、各校で行った職場体験から得たことや感じたことを発表した。その後「社会や地域を支える仕事」をテーマに、パネルディスカッションを行った。将来担うべき地域社会の一員としての自覚や地域を活性化しようとする高い意識が感じられた。 ・ ふるさと教育がいっそう推進するように、特色ある教育活動について、教育情報誌「ふいご」で各校に紹介している。 ・ のべ250名以上の学校支援ボランティアが各校の体験活動をサポートした。（読み聞かせが最も多く、小・中学校12校で実施、西小は外国語サポート。五小は舞踊指導。竹生小は農園作業。第四小は昔語り。崇徳小・浅内小は田植え・稲刈り指導。二ツ井小は茶道教室・スクールバンド。常盤中は茶道・華道体験。能代東中・二中で浴衣の着付け。南中は英語に親しむ活動。等）

<p>学識経験者の意見</p>	<p>① 各校で特色ある取り組みが行われ、それが交流会や会議で全市的に交流されており、高く評価できる。今後とも継続的に取り組んでいただきたい。また、各教科や総合、道徳、特別活動との関わりを明確にしながら、児童生徒の総合的な生きる力、ふるさとを支える力の育成に結びつけていくことを期待する。</p> <p>② 学校支援ボランティアについても高く評価できるところであり、地域全体で学校を支える活動を、地域住民や保護者により多く参加してもらいながら、拡充して行っていただきたい。</p> <p>□ 「ふるさと学習交流会」、「能代っ子中学生ふるさと会議」は、ふるさとのよさに気づき、ふるさとへの愛着心を高めるうえで適切な取組であると思う。ただ、内容面ではここ数年、同じような発表が続き、マンネリの感がある。中身のすべてを変える必要はないにしても、その年によって変化の部分を取り入れてはどうか。</p> <p>□ 教育情報誌「教育のしろ」や「ふいご」には、毎回、タイムリーな内容が掲載されており、他校や他の教員の実践に触れることのできる貴重な場となっている。</p> <p>□ 学校支援ボランティアの皆さんのご協力に感謝したい。今後とも、いろいろな機会を通して学校支援ボランティア事業についての周知を図り、多方面で支援を受けられるようにしてほしい。</p>
-----------------	---

2 学校教育

【学校教育課】

施策の項目	(2) 基礎学力の向上を図る学習指導
方針・目標	児童生徒に主体的な学習の場を保証し、学力の向上を図る。
目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・秋田県の学習状況調査(小学校4年から中学校2年対象悉皆調査)で、各学年・各教科において市平均が県平均を上回る結果となるようにする。 ・質問紙調査において、学習意欲に関する評価項目で肯定的な評価が小学生で70%以上、中学生で50%以上、自力解決に関する評価項目で肯定的な評価が小・中学校とも90%以上になるようにする。
事務事業の実績	<p>① 県学習状況調査の学校分析と補充・改善の実施、研究主任会での情報交換及び指導助言、報告書の提出(県調査後2月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の児童生徒の補充学習の実施の促進 ・学校や教師の課題を明確にした授業改善の促進 <p>② 学校訪問指導の実施</p> <p>各校の課題を把握し、改善に向けた指導助言を以下の訪問を通してP D C A サイクルで実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県教育庁北教育事務所長、山本出張所長訪問への指導主事随行(6-7月) ・市教委学校教育課指導主事による全学級訪問(7-10月) ・市教育長訪問(学校教育課長、同参事、指導主事随行)(11月) ・指導主事による要請訪問(市教委は事前研修からのサポート) <p>③ 研修機会の提供と各校の情報共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全小・中学校の理科担当者を対象に「理科学力向上研修会」(6月)を開催し、理科の「実験の指導のポイント」について講話や演習を実施し、指導力の向上を図った。 ・市情報教育研修会を2回開催し(8月、12月)、デジタル教科書及び電子黒板等の初歩的な操作や活用方法、情報手段や視聴覚教材の活用について、講義や演習により理解を深め、ICTを活用した指導力の向上を図った。 ・紀要『教育課程の展開と実践』の発行(3月)各校の校内研究のまとめ
点検評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/>目標をやや下回る</p> <p><input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>[説明]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習状況調査(H24年12月実施)の結果は、小学校4・5年と中学校1・2年の全教科、小学校6年の国語、社会、算数が県平均を上回った。小学校6年の理科は-0.8ポイントで、県平均とほぼ同程度。全体として各学年とも良好と言える。 ・学習意欲は「勉強が好きだ」の割合は、小学校4年83.6%(県比+4.1ポイント)、5年71.7%(-2.8)、6年63.5%(-6.4)、中学校1年56.6%(+4.9)、2年40.0%(-1.4)で、特に6年生への学習意欲を高めるための手立てを工夫していく必要がある。 ・自力解決は「わからないことでも自分の力で答えを見つけられるよう、勉強したい」の割合は、小学校4年94.2%(県比+0.5ポイント)、5年91.9%(-1.4)、6年94.1%(+2.2)、中学校1年89.4%(+1.9)、2年85.2%(+0.9)で概ね良好な状況であるので維持したい。

施策の項目	(3) 心豊かでたくましい子どもをはぐくむ指導
方針・目標	いじめや不登校等の生徒指導上の問題について、未然防止や早期発見・適切な対応に努めるために学校と関係機関の連携や学校・家庭・地域が一体となって子どもを育てる体制をつくる。
目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめの未然防止、早期発見、適切な対応ができる体制をつくる。 ・不登校の出現率を1,000人当たり6.0人以下にする。 ・全国学力・学習状況調査（質問紙調査）「学校で友達に会うのは楽しい」で、肯定的な回答をした児童生徒の割合を95%以上にする。
事務事業の実績	<p>① 心の教室相談員の配置</p> <p>子どもたちが学校で気軽に悩み等を話し、ストレスを和らげるために相談員を配置し、心のゆとりをもてる環境を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校12校中5校(児童数300人を超える学校)に4名配置 ・中学校7校全校に6名配置 ・1年間に心の教室を訪れた人数(延べ人数) 12,262名（昨年度 9,312名） ・年間の相談件数 432件（昨年度 596件） ・相談員がかかわった不登校児童生徒の総数11名、内改善傾向8名（昨年度 総数7名、内改善傾向3名） ・いじめに関わる相談件数3件、内改善が見られた件数3件（昨年度 3件、改善3件） <p>② 適応指導教室「はまなす広場」の設置</p> <p>不登校児童生徒に対して、個別指導を通して学習意欲・自立心・社会性等を育て、学校復帰への手助けをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通級者 14人 内復帰した児童生徒数 9人（昨年度 9人、内復帰 2人） ・登校に向けて風の子電話との連携を強化した。 <p>③ 「風の子電話」の設置</p> <p>電話や来所による教育相談を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間相談件数 電話30件 来所86件（内不登校に関する相談56件、いじめに関する相談19件、その他11件） ・学校や教育研究所、他機関との連携 ・適応指導教室との連携強化 <p>④ 不登校保護者会の開催</p> <p>不登校児童生徒をもつ保護者の援助活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月第3木曜日19:00～21:00 のべ53名参加 5名の学校復帰に関わる <p>⑤ 児童生徒支援アドバイザーの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校に30回、中学校に29回訪問。また、電話・来室による相談は小学校が42回、中学校は56回。学校側は、生徒指導上の問題が生じたとき、すぐにアドバイザーが学校に訪問し、的確な助言をしてもらえることがありがたいという意見が教育研究所運営協議会で出されている。 <p>⑥ 各小・中学校への指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校対策事業のリーフレット等を定期、随時に学校を通して保護者に配付。ホームページにも掲載。 ・毎月、支援を要する児童生徒（欠席日数の多少にかかわらず）の欠席

	<p>日数、学校での状況と学校の対応、家庭での過ごし方等について報告を受け、取組について指導助言した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市生徒指導主事会（年4回）での、情報交換と小・中学校の連携強化、未然防止に向けた取組の呼びかけ。 ・指導主事が全小・中学校へ出向き、「不登校・いじめ防止研修会」を市内全教職員に実施し、未然防止や早期発見、適切な対応を強化する取組を行った。 ・Q-U検査（「楽しい学校生活を送るためのアンケート」）をすべての小学校6年生と中学校1・2年生に実施し、不登校やいじめ被害の可能性の高い生徒の早期発見に努めた。中学校1年生の不登校生徒数5名（22年度、6名） ・心の教室相談員、教育相談員、スクールカウンセラーを校内の生徒指導研修会等に活用し、情報交換や校内連携を充実させた。
<p>点 検 評 価</p>	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る <input type="checkbox"/>ほぼ目標どおり <input checked="" type="checkbox"/>目標をやや下回る</p> <p><input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>[説明]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめは、小学校9件、中学校6件が報告されいずれも解消。（平成23年度は小学校2件、中学校1件であったが、各校がいじめを早期発見し、早期対応した結果といえる。） ・不登校の出現率は8.8人（児童生徒1,000人あたり）で、国の11.2人は下回っているが、県の8.5人（平成23年度）を多少ではあるが上回ってしまった。また、出現率が23年度の7.3人と比較して、大きく上回った状況である。 ・児童生徒による暴力行為は7件であった。全体的にはおおむね安定した学校生活が実現できているが、生徒間暴力や器物破損など、特定の生徒による問題行動が目立った。 ・全国学力・学習状況調査（質問紙調査）で、「学校で友達に会うのは楽しい」は小学校は96.0%、中学校は96.3%が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えている。いずれも県平均と同等であり、全体の満足度は高い状態であるが、Q-Uテスト等を活用しながら、友人との関係に問題を抱えている児童生徒にきめ細かい支援をしていくよう各校に指導していく必要がある。
<p>課 題 及 び 今後の取組の 方 向 性</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>拡充 <input type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他（ ）</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の自己有用感を高め、満足度の高い学校生活を送れるようにすることを基盤とする。いじめは絶対に許さない姿勢を全校の児童生徒及び教職員全員が共有する環境を作る。 ・新たに特別支援教育アドバイザーを配置し、支援が必要な児童生徒の自立や社会参加に向けて、生活や学習上の困難を改善又は克服するために、適切な支援を行う。また、児童生徒支援アドバイザーは、いじめや不登校、その他問題を抱える児童生徒にかかわる関係者間の連携を図り、当該児童生徒の早期問題解

	<p>決が図られるよう支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き、いじめ・不登校防止研修会を市内全教職員に実施し、未然防止や早期発見、適切な初期対応を強化する取組みを行う。講師として、指導主事に加え、風の子電話相談員、児童生徒支援アドバイザーも参加し、事例検討の際、的確な指導助言を行う。 ・Q-U検査（「楽しい学校生活を送るためのアンケート」）の対象を小学校5年生～中学校2年生にまで拡大実施し、中一ギャップの軽減や不登校・いじめの未然防止、早期発見、適切な対応に生かす。また、Q-Uの結果をより効果的に活用できるよう担当者の研修を実施するとともに、成果を全学校で共有し、気になる児童生徒に対して全職員で関わっていくよう指導する。
<p>学 識 経 験 者 の 意 見</p>	<p>① いじめや不登校に対して、対処療法だけではなく、Q-U 検査等を使用して児童生徒全体の状況をつかみ、未然防止に努めており、高く評価できる。今後とも、問題状況の把握に努めるとともに、学校生活が児童生徒全員にとって有意義なものとなるように工夫改善を継続していただきたい。個々の児童生徒の権利や個性が生かされるような学校づくり、学級づくりにすべての学校が取り組んでいくように、教育委員会として支援していただきたい。</p> <p>□ いじめや不登校等の問題に対応するために、心の教室相談員や児童生徒支援アドバイザーを配置したり、「はまなす広場」や「風の子電話」を設置したりするなど、きめ細かな手だてが講じられている。それらの成果として、不登校児童生徒のうちの何人かが改善あるいはその傾向を見せており、今後ともこれらの取組を継続してほしい。</p> <p>□ Q-U検査は、学級内での子どもたちの人間関係を把握するうえで有効であり、検査の対象学年を拡大したことに敬意を表したい。</p>

2 学校教育

【学校教育課】

施策の項目	(4) 幅広い識見と実践的指導力を培う教職員の研修
方針・目標	学校や教職員の課題に応じた研修機会の提供と充実により、教職員の識見を広げ、実践的指導力を向上させる。
目標値	各研修会参加者の事後アンケートで「研修会の内容が実践に役立ったか」と「内容が分かりやすかったか」について、肯定的評価が4段階評価で3.5以上となるようにする。
事務事業の実績	<p>① 職務別研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務主任・研究主任の合同研修会（7月と1月） ミドルリーダーについての講義、その後分科会に分かれて、情報交換 ・研究主任会（11月） 矢田部教育専門監の講義 ・特別支援教育支援員研修会（7月と10月）（秋大特任教授、山本出張所指導主事による講義） ・外国語活動支援員研修会（7月） <p>② 教職経験者研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初任者研修（市主催は5月と6月） 1回目：服務及びいじめ・不登校防止についての講義、学習指導・生徒指導についての成果と課題、2回目：能代市の主な施設の視察 ・講師研修（8月と1月） 1回目：指導主事による講義、授業の導入部分の提示、2回目：矢田部教育専門監の模擬授業 <p>③ テーマ別研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書活動推進研修会（5月と12月） ・モデルロケット研修会（5月） ・不登校、いじめ防止訪問研修会（5～7月） ・防災教育伝達講習会（9月） ・柔道安全指導講習会（9月） ・情報教育研修会（8月と1～2月） ・理科学力向上研修会（1月） <p>④ 中央の講師の講演聴講</p> <p>総合教育センターの公開講演への参加（指導主事引率で実施） ア 生徒指導（6月） イ 特別支援教育（8月） ウ 道徳（12月） 研修形態～集合研修（校外）が中心 研修方法～講話・講義、演習（ワークショップを含む）等</p>
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る
	<p>[説明]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規の研修会として、秋大と連携した特別支援教育研修会、柔道安全指導講習会、情報教育研修会、理科学力向上研修会などを企画し、学校現場へ学校や市の課題に応じた研修会を提供することができた。 ・すべての研修会で4段階の事後アンケートを実施したところ、ほぼ全員からすぐに実践に役立つことや内容がわかりやすかったことについて高評価を得ている他、2月の教育研究所運営委員会でも委員からも良好との評価を得ている。

	<table border="0"> <tr> <td>合同研修会（教務主任）</td> <td>1回目 実践 3.7</td> <td>内容 3.6</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2回目 実践 3.4</td> <td>内容 3.6</td> </tr> <tr> <td>合同研修会（研究主任）</td> <td>1回目 実践 4.0</td> <td>内容 4.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2回目 実践 4.0</td> <td>内容 3.6</td> </tr> <tr> <td>特別支援教育研修会（秋大連携）</td> <td>実践 3.8</td> <td>内容 3.8</td> </tr> <tr> <td>特別支援教育研修会（緊急雇用）</td> <td>実践 4.0</td> <td>内容 4.0</td> </tr> <tr> <td>初任者研修Ⅰ（いじめ・不登校）</td> <td>実践 4.0</td> <td>内容 4.0</td> </tr> <tr> <td>初任者研修Ⅰ（ワークショップ）</td> <td>実践 4.0</td> <td>内容 3.8</td> </tr> <tr> <td>初任者研修Ⅱ（視察研修）</td> <td>実践 4.0</td> <td>内容 3.6</td> </tr> <tr> <td>柔道安全指導講習会</td> <td>実践 4.0</td> <td>内容 4.0</td> </tr> <tr> <td>情報教育研修会</td> <td>1回目 実践 3.7</td> <td>内容 3.9</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2回目 実践 3.6</td> <td>内容 3.7</td> </tr> <tr> <td>理科学力向上研修会</td> <td>実践 4.0</td> <td>内容 4.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(平均 実践 3.9</td> <td>内容 3.8)</td> </tr> </table>	合同研修会（教務主任）	1回目 実践 3.7	内容 3.6		2回目 実践 3.4	内容 3.6	合同研修会（研究主任）	1回目 実践 4.0	内容 4.0		2回目 実践 4.0	内容 3.6	特別支援教育研修会（秋大連携）	実践 3.8	内容 3.8	特別支援教育研修会（緊急雇用）	実践 4.0	内容 4.0	初任者研修Ⅰ（いじめ・不登校）	実践 4.0	内容 4.0	初任者研修Ⅰ（ワークショップ）	実践 4.0	内容 3.8	初任者研修Ⅱ（視察研修）	実践 4.0	内容 3.6	柔道安全指導講習会	実践 4.0	内容 4.0	情報教育研修会	1回目 実践 3.7	内容 3.9		2回目 実践 3.6	内容 3.7	理科学力向上研修会	実践 4.0	内容 4.0		(平均 実践 3.9	内容 3.8)
合同研修会（教務主任）	1回目 実践 3.7	内容 3.6																																									
	2回目 実践 3.4	内容 3.6																																									
合同研修会（研究主任）	1回目 実践 4.0	内容 4.0																																									
	2回目 実践 4.0	内容 3.6																																									
特別支援教育研修会（秋大連携）	実践 3.8	内容 3.8																																									
特別支援教育研修会（緊急雇用）	実践 4.0	内容 4.0																																									
初任者研修Ⅰ（いじめ・不登校）	実践 4.0	内容 4.0																																									
初任者研修Ⅰ（ワークショップ）	実践 4.0	内容 3.8																																									
初任者研修Ⅱ（視察研修）	実践 4.0	内容 3.6																																									
柔道安全指導講習会	実践 4.0	内容 4.0																																									
情報教育研修会	1回目 実践 3.7	内容 3.9																																									
	2回目 実践 3.6	内容 3.7																																									
理科学力向上研修会	実践 4.0	内容 4.0																																									
	(平均 実践 3.9	内容 3.8)																																									
<p>課題及び今後の取組の方向性</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他（ ） </p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理科指導主事の配置による理科教育の充実。 ・秋田大学と連携してのモデルロケット授業と特別支援教育研修会の実施。 （発達障害に関する研修会の共同開催についても検討する） ・職務別研修の充実。教育研究所主催事業の充実、各研究団体等主催への支援、大学等専門家の協力。 ・教務主任の資質向上及び学校運営改善に生かせるように、教務主任研修会の内容を検討する。 ・テーマ別研修の充実。特別支援教育支援員研修会、外国語活動、図書整備・読書指導等を予定。いじめ・不登校防止訪問研修会（全 19 校悉皆訪問。5～7 月実施予定）の内容を当市の状況に応じて更新。 ・ネットトラブル防止の情報教育の実施（県教育センターから講師を依頼） ・新指導要領移行期に対応した研修についての見直し。（柔道、外国語活動） ・教科の指導力向上に関する研修の充実。 ・中央の講師の講演聴講継続。（学習指導、言語活動、道徳を予定） 																																										

<p>学 識 経 験 者 の 意 見</p>	<p>① 秋田大学と連携した特別支援教育研修会など、新たな取り組みもなされており、非常に有意義な研修が企画・実施されている。学校のニーズを定期的に調査するなどして、今後ともニーズに適合した研修を組織していただきたい。今後、研修がどのように学校改善、授業改善に活かされているのかについても、検証を加えていただきたい。</p> <p>② 教職員の力量向上にとっては日常的な校内研修が最も基本になると思われるので、各校の校内研修の状況を把握し、それと連動させた形で校外での研修が行われるように工夫改善を継続していただきたい。</p> <p>㊦ 様々な研修会や講習会を実施し、受講者からの評価も高い。今後とも諸課題の改善に立ち向かうことのできる教員を育てるべく、研修の場を提供してほしい。</p> <p>㊧ 若手教員や中堅教員を対象とした「良い授業」を見合うための取組を、市教委が主導して計画し、実施してほしい。</p> <p>㊨ 平成24年度の防災教育モデル校等での実践を集約し、各小・中学校がこれまで以上に地域を巻き込んで防災教育に取り組めるよう、市教委としてコーディネートしてほしい。</p>
----------------------------	---

施策の項目	(1) 生涯学習推進・社会教育振興																																																					
方針・目標	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習社会の実現に向け、その核となる社会教育を充実させる。 家庭及び地域の教育力向上が重要課題であり、豊かな心、生きる力を育めるよう学校・家庭・地域が連携協力し各種施策を推し進める。 																																																					
目標値	<p>① 知識や特技を地区活動等に発揮することを心がけている市民の割合：19年度末の18.6%から24年度には25.0%に引き上げる。</p> <p>② 生涯学習指導者、ボランティア登録者数：19年度末の27組から24年度には40組に増やす。</p>																																																					
事務事業の実績	<p>○学校・家庭・地域の連携協力</p> <ul style="list-style-type: none"> 放課後子ども教室推進事業（市内全小学校12校で実施） <table border="1" data-bbox="429 645 1422 945"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">24年度</th> <th colspan="3">23年度</th> </tr> <tr> <th>学校数</th> <th>日数</th> <th>参加者数</th> <th>学校数</th> <th>日数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平日図書室等開放</td> <td>7</td> <td>1,330</td> <td>21,107</td> <td>7</td> <td>1,328</td> <td>18,948</td> </tr> <tr> <td>土曜日体育館開放</td> <td>5</td> <td>108</td> <td>1,624</td> <td>5</td> <td>127</td> <td>2,715</td> </tr> <tr> <td>週末体験活動</td> <td>12</td> <td>52</td> <td>976</td> <td>12</td> <td>51</td> <td>1,473</td> </tr> <tr> <td>夏休みプール開放</td> <td>12</td> <td>191</td> <td>8,453</td> <td>10</td> <td>154</td> <td>4,640</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>1,681</td> <td>32,160</td> <td></td> <td>1,660</td> <td>27,776</td> </tr> </tbody> </table> <p>○のしろDEマナブゥ事業（24年度から本格実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校教育課との共催により「ふるさと学習交流会」を公民館祭に合わせて、文化会館で開催し、より多くの市民に子どもたちの学習成果を見てもらうことができた。（郷土芸能発表 1団体、ふるさと学習発表 4校） 23年度参加者数：287人 24年度参加者数：316人 ふるさと学習交流会の開催については、広報（生涯学習のしろ）に掲載、近隣の介護施設へのチラシの配布、老人クラブ事務局へチラシの配布、地元新聞紙への掲載、参加する子どもたちがご招待カード（作成は生涯学習係）を配るなどPRをおこなった。 ふるさとを学ぶ「マナブゥ講座」を開催した。28講座でのべ481人の参加。 子どもたちが応募した「のしろのオリジナルキャラクター」をもとにマナブゥカードを作成し、マナブゥ講座参加者へ配布した。 キャラクター応募数：81人 105種類 カード作成数：1,000枚 116種類 大ホールホワイエに、各学校のふるさと学習の展示のほか、子どもたちが応募した「のしろのオリジナルキャラクター」を展示し、人気投票をおこなった。 子どもたちが自由にマナブゥカードを介しながら、「学び」とおして地域の方々とふれ合える「マナブゥ市」を開催した。 協力団体：9 参加者数：のべ619人 							24年度			23年度			学校数	日数	参加者数	学校数	日数	参加者数	平日図書室等開放	7	1,330	21,107	7	1,328	18,948	土曜日体育館開放	5	108	1,624	5	127	2,715	週末体験活動	12	52	976	12	51	1,473	夏休みプール開放	12	191	8,453	10	154	4,640	合計		1,681	32,160		1,660	27,776
	24年度			23年度																																																		
	学校数	日数	参加者数	学校数	日数	参加者数																																																
平日図書室等開放	7	1,330	21,107	7	1,328	18,948																																																
土曜日体育館開放	5	108	1,624	5	127	2,715																																																
週末体験活動	12	52	976	12	51	1,473																																																
夏休みプール開放	12	191	8,453	10	154	4,640																																																
合計		1,681	32,160		1,660	27,776																																																

	<p>○家庭教育支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「能代市家庭教育支援方針」に基づき、子育て各期における学習機会の拡充、異世代間の交流機会の拡充等のための講座を実施した。 <table border="1" data-bbox="432 280 1425 533"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">24年度</th> <th colspan="2">23年度</th> </tr> <tr> <th>講座数</th> <th>参加者数</th> <th>講座数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家庭教育関係講座</td> <td>19</td> <td>566</td> <td>25</td> <td>899</td> </tr> <tr> <td>社会参加活動推進事業 「みんなで Action!」</td> <td>12</td> <td>中高生 120 受入団体 306</td> <td>15</td> <td>中高生 125 受入団体 332</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>31</td> <td>992</td> <td>40</td> <td>1,356</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・「家庭教育に関する本」の貸出し 延べ 87 人、155 冊 ・家庭教育支援事業推進会議を 1 回開催（3 月） ・家庭教育通信「Only one」を 3 回発行 ・家庭教育支援事業報告書を作成し関係者に配布 ・家庭教育関係講座において「プレ親教育」を試行的に常盤・能代東中 2 校で実施した。 <p>○青少年健全育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「平成 24 年度能代市青少年健全育成活動方針」を、市のホームページに掲載するとともに、各自治会長や町内会長へ配布したり、能代市青少年問題協議会の委員の所属する団体の総会や会議で会員に呼びかけたり周知に努めた。 ・家庭教育支援事業「みんなで Action!」を青少年育成能代市民会議とタイアップして実施。（実績は家庭教育支援に記載） ・新成人で組織する実行委員会方式で成人式をおこなっている。 <p>○生涯学習指導者、ボランティアの養成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習ボランティア登録者数は 40 組であった。 ・「みんなで Action!」に多くの中学生・高校生ボランティアが参加することにより、社会活動への参加経験を積んでもらうことができた。 ・崇徳小学校の正課クラブ活動「檜山舞」の活動支援として、生涯学習奨励員が檜山舞の学習指導や実技指導をおこない、学校との関わりをもった。 ・二ツ井小学校の正課クラブ活動で「郷土芸能」や「合唱」「大正琴」「民謡」などに地域の方々がボランティアで指導をおこなった。 ・生涯学習奨励員がマナブゥ市で 2 ブースを企画運営し協力した。 ・放課後子ども教室推進事業のコーディネーターが、複数校での週末体験活動を企画したり、生涯学習奨励員が講師や活動リーダーとして参加したり活躍した。 ・生涯学習のしるを広報見開き 2 ページに掲載したほか、生涯学習ボランティア通信を配布し、生涯学習の周知に努めた。 ・生涯学習ボランティアの活用を図るため、登録者名簿を整備し公表した。 		24年度		23年度		講座数	参加者数	講座数	参加者数	家庭教育関係講座	19	566	25	899	社会参加活動推進事業 「みんなで Action!」	12	中高生 120 受入団体 306	15	中高生 125 受入団体 332	合計	31	992	40	1,356
	24年度		23年度																						
	講座数	参加者数	講座数	参加者数																					
家庭教育関係講座	19	566	25	899																					
社会参加活動推進事業 「みんなで Action!」	12	中高生 120 受入団体 306	15	中高生 125 受入団体 332																					
合計	31	992	40	1,356																					
点検・評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る <input type="checkbox"/>ほぼ目標どおり <input checked="" type="checkbox"/>目標をやや下回る</p> <p><input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>[説明]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①については、最終目標値「25.0%」に対し、24 年度実績が「16.7%」で、前年度より減少し、最終目標値は達成できなかった。しかし、24 年度も引き続き 																								

	<p>地域人材の活用や、作品展示など発表の場の提供に努めた。新規事業として「のしろDEマナブウ事業」を実施し、ふるさと学習に地域人材の活用を図ると共に、体験活動をとおして子どもたちの生きる力を育む活動ができた。</p> <p>・②については、最終目標値「40組」に対し、24年度実績が「40組(人)」であり、最終目標を達成することができた。</p>
<p>課題及び今後の取組の方向性</p>	<p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他 ()</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>○「放課後子ども教室週末体験活動」や「のしろDEマナブウ事業」の体験学習の中で、地域人材の活用を図っていく。</p> <p>○年度当初の学校訪問や学社連携推進会議等において、学校に対し、ふるさと学習やクラブ活動に生涯学習ボランティア・地域人材の活用を働きかけていく。</p> <p>○社会教育施設(12施設)に「情報掲示交換用コルクボード」を設置し、お互いの情報共有化に努め、生涯学習ボランティアの活用につなげていく。</p> <p>○「生涯学習のしろ」を広報掲載とし情報提供に努める。25年度は2ページ見開きで2回掲載し、PR活動に努める。</p> <p>○公民館祭、自主学习グループの作品発表など学習成果の発表の場を引き続き提供していくが、主催者と連携しPRに努める。</p>
<p>学識経験者の意見</p>	<p>① 学校教育と連携した形での事業の展開が行われており、異世代間交流が図られるとともに、まちづくりにもつながるものであり、高く評価できる。少子高齢化が進行する中で、学校教育と社会教育との融合はますます重要になっている。</p> <p>② 今後、社会教育や地域振興に携わる市民を増やすためには、勤労者、企業等への働きかけを強めるとともに、教育以外の他分野との連携を追求していく必要がある。</p> <p>③ 「放課後子ども教室推進事業」では、前年度よりも実施日数及び参加者数が増え、子どもたちの学びの場が広がっていることがうかがえる。特に、夏休み中のプール開放がすべての小学校で行われており、学校施設の活用が図られている。</p> <p>④ 「のしろDEマナブウ事業」での多彩な取組を知り、びっくりしている。これらの取組について事前の周知を図るために、学校を通した呼びかけがもっと必要なのではないかと思う。学校からも子どもや保護者に連絡してもらってはどうか。</p> <p>⑤ 家庭教育通信「Only one」のコラムを、毎号、興味深く読ませてもらっている。指導員さんの体験を通した子育てに関する提言が、心に響き勉強になる。</p> <p>⑥ 生涯学習ボランティアの皆さんの様々な面でのご支援に感謝している。今後とも地域の人材活用を図るべく、ボランティアの養成にも取り組んでいってほしい。</p>

<p>施策の項目</p>	<p>(2) 文化芸術活動の振興と文化財の保存・継承</p>
<p>方針・目標</p>	<p>市民文化振興事業と文化財保護事業の推進</p>
<p>目標値</p>	<p>○市民文化振興事業の推進 文化月間入場者数 展示部門：5,000人 舞台部門：800人 ○文化財保護事業の推進 指定・登録文化財数：98件（維持） 歴史探訪会の満足度：4以上（5段階評価で） 関係諸団体の活動支援 歴史ガイドの会・能代市民俗芸能連合会</p>
<p>事務事業の実績</p>	<p>○市民文化振興事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化月間の設定 ※（ ）内は前年度 展示部門：11 団体、入場者数 3,054 人（11 団体、4,598 人） 舞台部門：19 団体、入場者数 861 人（19 団体、841 人） ・芸術文化団体への支援 能代ミュージカル制作・公演費補助金 能代ミュージカルキッズ公演・練習会場使用料負担 ・能代市栄光賞（文化部門）の授与 受賞者 63 名〔金 3 銀 2 銅 58〕（34 名〔金 2 銀 8 銅 24〕） <p>○文化財保護事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定・登録文化財数：98 件（前年度と同数） ・歴史探訪会の実施 「中世檜山の歴史遺産(檜山地区)」 開催日：H24. 7. 7 参加者：18人〔評価：4. 61〕 「民俗芸能を訪ねる(二ツ井地区)」 開催日：H24. 8. 13 参加者：3人〔評価：5 〕 計21人（28人） ・関係諸団体の活動支援 歴史ガイドの会 養成講座の開催等 会員数 44 人（47 人） 能代市民俗芸能連合会 合同公演・後継者育成事業支援〔補助金〕 ・史跡の除草の実施 檜山安東氏城館跡、杉沢台遺跡、柏子所貝塚、鴨巣一里塚 ・遺跡分布調査、発掘調査 試掘 7 件、立会 4 件（試掘 3 件、立会 1 件） ・民俗芸能の継承 子ども民俗芸能発表会 開催日：H24. 11. 4 4 団体（4 団体）

点検・評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る [説明] ○市民文化振興事業の推進 文化月間の入場者数については、展示部門で前年度より減少したものの、舞台部門では前年を上回っている。 ○文化財保護事業の推進 指定・登録文化財数は目標値を達成している。 歴史探訪会については、参加者の満足度評価では4以上で目標を達成しているが、テーマの設定など、より多くの市民が参加できるような工夫に努めたい。 以上により、ほぼ目標どおり事業を実施した。
課題及び今後の取組の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他 () [具体的な課題及び取組] 市民文化振興に関する事業はこのまま継続する。文化財保護については、文化財の適切な保存に努めるとともに、活用については民間団体等ともに取り組み、市民の文化財に対する関心と理解を深めていく。
学識経験者の意見	① 文化月間の展示部門の入場者数がかなり減少していることから、原因を分析し、広報のあり方も含めて対策を講じていただきたい。 ② 文化財保護事業の推進については、一人でも多くの市民が興味と関心をもって歴史探訪会等の諸活動に参加できるよう、引き続き工夫してほしい。 ③ 民俗芸能の継承では、次代を担う子どもたちに、いかにして各地域の民俗芸能を伝えていくかということが課題である。このような意味からも、「ふるさと学習交流会」のオープニングで郷土芸能の発表を取り入れたことは、子どもたちの民俗芸能に対する意識を高めるうえで適切であったと思う。 ④ 能代ミュージカルや能代ミュージカルキッズの公演は、今や市民の楽しみの一つになっている。今後とも、制作・公演にかかる支援をお願いしたい。

<p>施策の項目</p>	<p>(3) 生活や地域における課題解決のための学習機会の提供</p>																																																																																																																																										
<p>方針・目標</p>	<p>①家庭教育分野での多様な体験・学習機会の拡充 ②少年を対象に異世代・異年齢との交流の場の充実と、地域行事やボランティア活動への参加促進 ③青年の自主的活動、仲間づくりの支援の強化及び地域と連携した活動の場や情報の提供 ④成人を対象に質の高い学習機会の提供や学びやすい環境づくりの推進 ⑤高齢者への学習の情報提供の充実や世代間交流の機会の拡充 ⑥学習成果の発表の場の提供や文化芸術団体の育成 ⑦地域づくりを担う人材の育成・支援及び社会教育関係団体の育成</p>																																																																																																																																										
<p>目標値</p>	<p>前年度実績との比較で、同等あるいは上回ること。</p>																																																																																																																																										
<p>事務事業の実績</p>	<p>1. 開設講座・事業数</p> <table border="1" data-bbox="427 763 1209 949"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>講座数</th> <th>回数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>39講座</td> <td>219回</td> <td>11,110人</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>39講座</td> <td>240回</td> <td>12,358人</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>0講座</td> <td>△21回</td> <td>△1,248人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 平成24年度開催講座内訳（地区公民館含む・数値は延べ数）</p> <table border="1" data-bbox="427 999 1398 1608"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th>おもな事業内容</th> <th>対象</th> <th>回数</th> <th>参加者数</th> <th>H23比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">家庭教育 (幼児教育)</td> <td>親子体験活動</td> <td>年長児と保護者</td> <td>8</td> <td>107組</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>食育体験学習</td> <td>年長児～小学生3</td> <td>6</td> <td>69人</td> <td>△ 20</td> </tr> <tr> <td>保護者の学習</td> <td>保護者</td> <td>4</td> <td>101人</td> <td>△ 256</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">少年教育</td> <td>体験活動・異年齢交流</td> <td>小学生3・4</td> <td>4</td> <td>113人</td> <td>△ 21</td> </tr> <tr> <td>体験活動(地区)</td> <td>地区小学生</td> <td>15</td> <td>206人</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>青年教育</td> <td>ボランティア育成</td> <td>高校生</td> <td>9</td> <td>144人</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">成人教育</td> <td>テーマに沿った課題学習</td> <td>一般成人</td> <td>10</td> <td>136人</td> <td>△ 10</td> </tr> <tr> <td>集合学習(教養・趣味)</td> <td>一般成人</td> <td>75</td> <td>926人</td> <td>△ 184</td> </tr> <tr> <td>働く婦人の家主催講座</td> <td>一般成人</td> <td>4</td> <td>62人</td> <td>△ 28</td> </tr> <tr> <td>勤労青少年ホーム主催講座</td> <td>一般成人</td> <td>4</td> <td>62人</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">高齢者教育</td> <td>集合学習</td> <td>高齢者</td> <td>59</td> <td>2,812人</td> <td>268</td> </tr> <tr> <td>世代間交流(高齢者育成)</td> <td>高齢者</td> <td>2</td> <td>17人</td> <td>△ 66</td> </tr> <tr> <td>文化活動</td> <td>公民館祭・文化祭</td> <td>—</td> <td>17</td> <td>6,144人</td> <td>△ 994</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コミュニティ活動</td> <td>地域づくり講演会</td> <td>一般成人</td> <td>1</td> <td>125人</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>地域交流(地区)</td> <td>一般成人</td> <td>1</td> <td>86人</td> <td>△ 79</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合 計</td> <td>219</td> <td>11,110</td> <td>△ 1,248</td> </tr> </tbody> </table> <p>※公民館祭開催日 平成23年度－3日間 → 平成24年度－2日間(△1日)</p> <p>3. 自主学習グループ支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館使用料の減額、施設の優先予約 ・公民館祭への参加（作品展示・芸能発表） ・新規会員募集グループ紹介活動 ・その他学習相談への対応 <table border="1" data-bbox="485 1872 1187 2051"> <thead> <tr> <th></th> <th>グループ数</th> <th>人数</th> <th>男</th> <th>女</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>250団体</td> <td>3,849人</td> <td>1,206人</td> <td>2,643人</td> <td>H25.3.31</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>263団体</td> <td>4,667人</td> <td>1,289人</td> <td>3,378人</td> <td>H24.3.31</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>△13団体</td> <td>△818人</td> <td>△83人</td> <td>△735人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					年度	講座数	回数	参加者数	H24	39講座	219回	11,110人	H23	39講座	240回	12,358人	増減	0講座	△21回	△1,248人	分野	おもな事業内容	対象	回数	参加者数	H23比較	家庭教育 (幼児教育)	親子体験活動	年長児と保護者	8	107組	31	食育体験学習	年長児～小学生3	6	69人	△ 20	保護者の学習	保護者	4	101人	△ 256	少年教育	体験活動・異年齢交流	小学生3・4	4	113人	△ 21	体験活動(地区)	地区小学生	15	206人	22	青年教育	ボランティア育成	高校生	9	144人	60	成人教育	テーマに沿った課題学習	一般成人	10	136人	△ 10	集合学習(教養・趣味)	一般成人	75	926人	△ 184	働く婦人の家主催講座	一般成人	4	62人	△ 28	勤労青少年ホーム主催講座	一般成人	4	62人	14	高齢者教育	集合学習	高齢者	59	2,812人	268	世代間交流(高齢者育成)	高齢者	2	17人	△ 66	文化活動	公民館祭・文化祭	—	17	6,144人	△ 994	コミュニティ活動	地域づくり講演会	一般成人	1	125人	15	地域交流(地区)	一般成人	1	86人	△ 79	合 計			219	11,110	△ 1,248		グループ数	人数	男	女		H24	250団体	3,849人	1,206人	2,643人	H25.3.31	H23	263団体	4,667人	1,289人	3,378人	H24.3.31	増減	△13団体	△818人	△83人	△735人	
年度	講座数	回数	参加者数																																																																																																																																								
H24	39講座	219回	11,110人																																																																																																																																								
H23	39講座	240回	12,358人																																																																																																																																								
増減	0講座	△21回	△1,248人																																																																																																																																								
分野	おもな事業内容	対象	回数	参加者数	H23比較																																																																																																																																						
家庭教育 (幼児教育)	親子体験活動	年長児と保護者	8	107組	31																																																																																																																																						
	食育体験学習	年長児～小学生3	6	69人	△ 20																																																																																																																																						
	保護者の学習	保護者	4	101人	△ 256																																																																																																																																						
少年教育	体験活動・異年齢交流	小学生3・4	4	113人	△ 21																																																																																																																																						
	体験活動(地区)	地区小学生	15	206人	22																																																																																																																																						
青年教育	ボランティア育成	高校生	9	144人	60																																																																																																																																						
成人教育	テーマに沿った課題学習	一般成人	10	136人	△ 10																																																																																																																																						
	集合学習(教養・趣味)	一般成人	75	926人	△ 184																																																																																																																																						
	働く婦人の家主催講座	一般成人	4	62人	△ 28																																																																																																																																						
	勤労青少年ホーム主催講座	一般成人	4	62人	14																																																																																																																																						
高齢者教育	集合学習	高齢者	59	2,812人	268																																																																																																																																						
	世代間交流(高齢者育成)	高齢者	2	17人	△ 66																																																																																																																																						
文化活動	公民館祭・文化祭	—	17	6,144人	△ 994																																																																																																																																						
コミュニティ活動	地域づくり講演会	一般成人	1	125人	15																																																																																																																																						
	地域交流(地区)	一般成人	1	86人	△ 79																																																																																																																																						
合 計			219	11,110	△ 1,248																																																																																																																																						
	グループ数	人数	男	女																																																																																																																																							
H24	250団体	3,849人	1,206人	2,643人	H25.3.31																																																																																																																																						
H23	263団体	4,667人	1,289人	3,378人	H24.3.31																																																																																																																																						
増減	△13団体	△818人	△83人	△735人																																																																																																																																							

4. 学習記録

- ・受講生による日誌制導入（中央公民館主催講座のみ）
- ・市民学校文集『よねしろ』第11・12・13号発行

5. 勤労青少年ホーム利用者連絡協議会

	利用グループ数	登録人数
H24	13団体	89人
H23	16団体	82人
増減	△3団体	7人

6. 働く婦人の家利用グループ

	利用グループ数	登録人数
H24	61団体	717人
H23	64団体	752人
増減	△3団体	△35人

[参考]

公民館年間利用者数（中央、旧能代地区6館、二ツ井、分館8館）

H22~125,302人、H23~118,531人、H24~124,223人

（3カ年平均：122,685人／年）

※平成24年度に中央公民館の耐震診断実施

（結果：耐震基準を満たしていた）

点 検 評 価

- 目標を上回る ほぼ目標どおり 目標をやや下回る
 目標を大幅に下回る

[説明]

- ・講座数は前年と比べ増減がなかったが、回数や参加者数が減少した。
- ・「おひさま親子教室」や「キッチン・キッズ」などのアンケート結果では、回答者の100パーセント近くが「良かった」と回答した。
- ・「転勤奥様教室」「市民学校」「中央寿大学」などの学習日誌や感想文からは「とても楽しく勉強になった。」「また同じ講座を開催してほしい。」「気になる講座に参加してみたい。」などの意見や要望が多く寄せられ、講座に対する期待の高さをうかがわせた。
- ・自主学习グループは、13の団体が加入したが、高齢化等により解散をする団体もありグループ数は若干減少し、人数は大幅に減少した。
- ・勤労青少年ホーム利用者による連絡協議会は、グループ数は減少したが、登録人員は増加した。働く婦人の家は、グループ数・登録人員ともに減少した。

<p>課題及び今後の取組の方向性</p>	<p> <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他（ ） </p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座へ参加しやすい環境をつくるため、生活状況に応じた時間帯（週末や夜間など）の実施や、地域行事と重ならないような日程調整などに努める。 ・アンケートや日誌等の提出をお願いしている講座については、回収率が低い状況であるため、回収方法やアンケート内容を工夫し今後の講座企画に生かせるように努めたい。 ・講座の情報提供は、広報やホームページを活用するほか、市内の公共施設や事業所などに対しポスターの掲示やチラシを配布するなど、より広く周知徹底を行う。 ・参加者が学習成果を地域づくりに生かせるよう、地域行事への積極的な参加を働きかける。 ・多様化する市民ニーズに効果的かつ効率的に対応し、市民サービスの向上を図るため指定管理者制度の検討を行う。
<p>学識経験者の意見</p>	<p>① 自主学习グループの減少は高齢化によるところも大きいと思われるが、新規グループの立ち上げに向けた需要の掘り起こし、発見につとめていただきたい。</p> <p>② 指定管理者制度については、メリット、デメリットを踏まえ、慎重に検討していただきたい。</p> <p>☐ 市内の公民館の総年間利用者数が前年度の落ち込みを回復できたことは、活動の大きな成果と言える。</p> <p>☑ 講座の開設に関する情報提供については、広報やポスター、チラシ等を活用してよく行われていると思う。今後とも、市民がどのような講座の開設を望んでいるかについて、アンケート等で把握し、適切に対応してほしい。</p>

施策の項目	(4) 芸術文化の振興と福祉の増進を図る																																																																				
方針・目標	①主催事業の企画実施 ②芸術文化活動の育成と参加の奨励 ③会館の効率的な利用																																																																				
目標値	前年度実績との比較で、同等あるいは上回ること																																																																				
事務事業の実績	平成24年度実績 ①主催事業																																																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催日</th> <th>事業名</th> <th>内容</th> <th>入場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>5/20(日)</td> <td>わらび座ミュージカル</td> <td>「おもひでぼろぼろ」</td> <td>600</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/23(土)</td> <td>松山千春コンサート</td> <td>松山千春</td> <td>1,136</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>7/22(日)</td> <td>納谷嘉彦ジャズコンサート</td> <td>納谷嘉彦(中ホール開催)</td> <td>252</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>8/27(月)</td> <td>24年度松竹特別公演</td> <td>「初蕾」</td> <td>631</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>9/9(日)</td> <td>岡本知高ソプラニストコンサート</td> <td>岡本知高</td> <td>519</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>12/1(土)</td> <td>ミュージカル「トランクロードのかぐや姫」</td> <td>新生ふるきやらのミュージカル</td> <td>511</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">24年度合計</td> <td>6回開催</td> <td>3,649</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">23年度合計</td> <td>6回開催</td> <td>4,861</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">前年比</td> <td></td> <td>△ 1,212</td> </tr> </tbody> </table>					開催日	事業名	内容	入場者数	1	5/20(日)	わらび座ミュージカル	「おもひでぼろぼろ」	600	2	6/23(土)	松山千春コンサート	松山千春	1,136	3	7/22(日)	納谷嘉彦ジャズコンサート	納谷嘉彦(中ホール開催)	252	4	8/27(月)	24年度松竹特別公演	「初蕾」	631	5	9/9(日)	岡本知高ソプラニストコンサート	岡本知高	519	6	12/1(土)	ミュージカル「トランクロードのかぐや姫」	新生ふるきやらのミュージカル	511		24年度合計		6回開催	3,649		23年度合計		6回開催	4,861		前年比			△ 1,212															
	開催日	事業名	内容	入場者数																																																																	
1	5/20(日)	わらび座ミュージカル	「おもひでぼろぼろ」	600																																																																	
2	6/23(土)	松山千春コンサート	松山千春	1,136																																																																	
3	7/22(日)	納谷嘉彦ジャズコンサート	納谷嘉彦(中ホール開催)	252																																																																	
4	8/27(月)	24年度松竹特別公演	「初蕾」	631																																																																	
5	9/9(日)	岡本知高ソプラニストコンサート	岡本知高	519																																																																	
6	12/1(土)	ミュージカル「トランクロードのかぐや姫」	新生ふるきやらのミュージカル	511																																																																	
	24年度合計		6回開催	3,649																																																																	
	23年度合計		6回開催	4,861																																																																	
	前年比			△ 1,212																																																																	
	②会場提供型共催事業（教育委員会共催）																																																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催日</th> <th>事業名</th> <th>内容</th> <th>入場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>9/2(日)</td> <td>市民オペラ椿姫</td> <td>市初の市民オペラ</td> <td>1,048</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/14(日)</td> <td>石井漢が結ぶ秋田と台湾</td> <td>台湾の創作ダンス公演</td> <td>1,150</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>2/24(日)</td> <td>能代ミュージカル「恋文物語」</td> <td>第32回市民ミュージカル</td> <td>879</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>3/17(日)</td> <td>ノシロックフェスティバル2013</td> <td>市内バンド及びプロのバンドによるコンサート</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">24年度合計</td> <td>4回開催</td> <td>3,477</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">23年度合計</td> <td>2回開催</td> <td>1,383</td> </tr> </tbody> </table>					開催日	事業名	内容	入場者数	1	9/2(日)	市民オペラ椿姫	市初の市民オペラ	1,048	2	10/14(日)	石井漢が結ぶ秋田と台湾	台湾の創作ダンス公演	1,150	3	2/24(日)	能代ミュージカル「恋文物語」	第32回市民ミュージカル	879	4	3/17(日)	ノシロックフェスティバル2013	市内バンド及びプロのバンドによるコンサート	400		24年度合計		4回開催	3,477		23年度合計		2回開催	1,383																														
	開催日	事業名	内容	入場者数																																																																	
1	9/2(日)	市民オペラ椿姫	市初の市民オペラ	1,048																																																																	
2	10/14(日)	石井漢が結ぶ秋田と台湾	台湾の創作ダンス公演	1,150																																																																	
3	2/24(日)	能代ミュージカル「恋文物語」	第32回市民ミュージカル	879																																																																	
4	3/17(日)	ノシロックフェスティバル2013	市内バンド及びプロのバンドによるコンサート	400																																																																	
	24年度合計		4回開催	3,477																																																																	
	23年度合計		2回開催	1,383																																																																	
	※H23-能代ミュージカル、ノシロックフェスティバル																																																																				
	③ロビーコンサート（市民が参加発表し、無料で会場を提供） 9回開催 入場者数：760人																																																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催日</th> <th>事業名</th> <th>内容</th> <th>入場者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/1(日)</td> <td>第56回 ロビーコンサート</td> <td>三声種による歌とピアノ</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>5/16(水)</td> <td>第57回 //</td> <td>ハンドベル演奏会</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/24(日)</td> <td>第58回 //</td> <td>コカリナアンサンブル</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>9/22(土)</td> <td>第59回 //</td> <td>Funny Crew 吹奏楽団</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>12/22(土)</td> <td>第60回 //</td> <td>音楽&ピアノ演奏</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>12/24(土)</td> <td>第61回 //</td> <td>弦楽器とピアノの合奏</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>2/16(土)</td> <td>第62回 //</td> <td>西高吹奏楽部</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>3/20(水)</td> <td>第63回 //</td> <td>一中吹奏楽部</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>3/23(土)</td> <td>第64回 //</td> <td>工業高校吹奏楽部</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">24年度合計</td> <td>9回開催</td> <td>760</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">23年度合計</td> <td>8回開催</td> <td>610</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">前年比</td> <td></td> <td>150</td> </tr> </tbody> </table>					開催日	事業名	内容	入場者数(人)	1	4/1(日)	第56回 ロビーコンサート	三声種による歌とピアノ	100	2	5/16(水)	第57回 //	ハンドベル演奏会	50	3	6/24(日)	第58回 //	コカリナアンサンブル	100	4	9/22(土)	第59回 //	Funny Crew 吹奏楽団	100	5	12/22(土)	第60回 //	音楽&ピアノ演奏	80	6	12/24(土)	第61回 //	弦楽器とピアノの合奏	50	7	2/16(土)	第62回 //	西高吹奏楽部	60	8	3/20(水)	第63回 //	一中吹奏楽部	120	9	3/23(土)	第64回 //	工業高校吹奏楽部	100		24年度合計		9回開催	760		23年度合計		8回開催	610		前年比			150
	開催日	事業名	内容	入場者数(人)																																																																	
1	4/1(日)	第56回 ロビーコンサート	三声種による歌とピアノ	100																																																																	
2	5/16(水)	第57回 //	ハンドベル演奏会	50																																																																	
3	6/24(日)	第58回 //	コカリナアンサンブル	100																																																																	
4	9/22(土)	第59回 //	Funny Crew 吹奏楽団	100																																																																	
5	12/22(土)	第60回 //	音楽&ピアノ演奏	80																																																																	
6	12/24(土)	第61回 //	弦楽器とピアノの合奏	50																																																																	
7	2/16(土)	第62回 //	西高吹奏楽部	60																																																																	
8	3/20(水)	第63回 //	一中吹奏楽部	120																																																																	
9	3/23(土)	第64回 //	工業高校吹奏楽部	100																																																																	
	24年度合計		9回開催	760																																																																	
	23年度合計		8回開催	610																																																																	
	前年比			150																																																																	

	<p>[参考]</p> <p>文化会館年間利用者数 H21~117,995人、H22~103,044人、H23~101,476人、H24~101,425人 (4カ年平均:105,975人/年)</p> <p>※本庁地区避難所として、文化会館、青少年ホームが指定されている。 (水害時は高齢者福祉避難所として指定)</p> <p>※平成24年度に耐震診断実施(結果:耐震基準を満たしていた)</p> <p>○市民芸術文化祭(能代市芸術文化協会主催事業)</p> <table border="1" data-bbox="402 571 1369 743"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th colspan="2">展示部門</th> <th colspan="2">舞台部門</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>12団体</td> <td>入場者数 3,354人</td> <td>16団体</td> <td>入場者数 863人</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>12団体</td> <td>入場者数 4,598人</td> <td>19団体</td> <td>入場者数 841人</td> </tr> <tr> <td>前年比</td> <td>0団体</td> <td>入場者数 △1,254人</td> <td>△3団体</td> <td>入場者数 22人</td> </tr> </tbody> </table>	区分	展示部門		舞台部門		H24	12団体	入場者数 3,354人	16団体	入場者数 863人	H23	12団体	入場者数 4,598人	19団体	入場者数 841人	前年比	0団体	入場者数 △1,254人	△3団体	入場者数 22人										
区分	展示部門		舞台部門																												
H24	12団体	入場者数 3,354人	16団体	入場者数 863人																											
H23	12団体	入場者数 4,598人	19団体	入場者数 841人																											
前年比	0団体	入場者数 △1,254人	△3団体	入場者数 22人																											
<p>点 検 評 価</p>	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/>目標をやや下回る <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>[説明]</p> <ul style="list-style-type: none"> 鑑賞型主催事業は催物のジャンルに偏りがないよう計画し、前年と同数の6本実施した。総入場者数は対前年に対して減少したが、主催事業の際に行っているアンケートでは、満足度の高い回答が多く寄せられている。 <table border="1" data-bbox="434 1019 1289 1281"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>大変満足</th> <th>満足</th> <th>やや不満</th> <th>不満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>おもひでぼろぼろ</td> <td>61</td> <td>58</td> <td>5</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>納谷嘉彦ジャズコンサート</td> <td>21</td> <td>9</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>松竹「初蕾」</td> <td>23</td> <td>11</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>岡本知高コンサート</td> <td>85</td> <td>13</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>トランクロードのかぐや姫</td> <td>27</td> <td>11</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※松山千春コンサートはアンケート実施せず</p> <ul style="list-style-type: none"> 会館を気軽に活用したロビーコンサートは回数、入場者ともに増加し、今後の中・大ホールの利用に繋がる、芸術文化活動の育成と参加の促進ができた。 アンケートからは内容への満足度は高いが、日程や施設設備への課題が多く見られるのでそれぞれ対応していきたい。 	事業名	大変満足	満足	やや不満	不満	おもひでぼろぼろ	61	58	5	0	納谷嘉彦ジャズコンサート	21	9	1	0	松竹「初蕾」	23	11	0	0	岡本知高コンサート	85	13	0	0	トランクロードのかぐや姫	27	11	2	0
事業名	大変満足	満足	やや不満	不満																											
おもひでぼろぼろ	61	58	5	0																											
納谷嘉彦ジャズコンサート	21	9	1	0																											
松竹「初蕾」	23	11	0	0																											
岡本知高コンサート	85	13	0	0																											
トランクロードのかぐや姫	27	11	2	0																											
<p>課 題 及 び 今 後 の 取 組 の 方 向 性</p>	<p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他 ()</p> <p>[具体的な取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> 主催事業費の増加は厳しく、現状維持が予想されることから、各種助成制度を活用した事業の企画を推進しながら、ホームページなどあらゆる機会を通して利用促進を図る。 主催事業時に行っているアンケート調査等を活用し、今後の主催事業を検討する。 運営業務の委託団体である能代市芸術文化協会のノウハウを活用した事業の展開を図る。 多様化する市民ニーズに効果的かつ効率的に対応し、市民サービスの向上を図るため指定管理者制度の検討を行う。 25年度トイレ改修工事等により、施設利用者の利便性を向上させたい。 																														

<p>学 識 経 験 者 の 意 見</p>	<p>① 会場提供型共催事業、ロビーコンサートともに入場者数が増えていることから、今後とも主催事業以外の面での企画を増やす努力を続けていただきたい。</p> <p>② トイレも含め施設設備の改善に可能なところからでも取り組んでいただきたい。</p> <p>③ 指定管理者制度については、メリット、デメリットを踏まえ、慎重に検討していただきたい。</p> <p>□ 主催事業については、市民の要望をもとにしながらも、これまで同様、ジャンルのバランスを考慮した開催をお願いしたい。</p> <p>□ ロビーコンサートは、前年度よりも回数、入場者数ともに増加しており、利用者にとって利用しやすい環境になっていることがうかがえる。</p>
----------------------------	---

<p>施策の項目</p>	<p>(5) 図書館サービスの充実</p>																																			
<p>方針・目標</p>	<p>市民の学習要求に応えるため必要な資料を広く収集・整理し、平等に提供するとともに、暮らしに役立つ利用しやすい図書館となるよう努める。</p>																																			
<p>目標値</p>	<p>快適な読書環境を提供し、より多くの住民に利用されるよう、毎年実施する利用者満足度調査の評価ポイント5段階中4ポイント以上を目指す。</p>																																			
<p>事務事業の実績</p>	<p>○図書館資料の充実</p> <p><蔵書数> H24 162,726冊 (うち郷土資料 13,938冊) H23 158,907冊 (うち郷土資料 13,694冊)</p> <p>・特色ある蔵書づくり「木に関するコーナー」H24 1,658冊 H23 1,637冊 「小惑星探査機はやぶさコーナー」</p> <p>○サービス活動の充実と利用の拡大</p> <table border="1" data-bbox="647 734 1390 864"> <tr> <td data-bbox="647 734 810 779"><貸出冊数></td> <td data-bbox="817 734 979 779">個人貸出</td> <td data-bbox="986 734 1149 779">団体貸出</td> <td data-bbox="1155 734 1390 779">合計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="647 788 810 824">H24</td> <td data-bbox="817 788 979 824">152,594冊</td> <td data-bbox="986 788 1149 824">9,250冊</td> <td data-bbox="1155 788 1390 824">161,844冊</td> </tr> <tr> <td data-bbox="647 833 810 869">H23</td> <td data-bbox="817 833 979 869">155,675冊</td> <td data-bbox="986 833 1149 869">9,181冊</td> <td data-bbox="1155 833 1390 869">164,856冊</td> </tr> </table> <table border="0" data-bbox="443 913 1418 1196"> <tr> <td></td> <td>(H24)</td> <td>(H23)</td> </tr> <tr> <td>・レファレンス・サービス (参考調査)、読書案内</td> <td>2,991件</td> <td>2,109件</td> </tr> <tr> <td>・リクエスト (予約) サービス</td> <td>5,513冊</td> <td>5,394冊</td> </tr> <tr> <td>・障がい者サービス (家庭配本)</td> <td>101冊</td> <td>121冊</td> </tr> <tr> <td>・県立図書館等公共図書館との相互協力</td> <td>借受 533冊</td> <td>485冊</td> </tr> <tr> <td></td> <td>貸出 507冊</td> <td>414冊</td> </tr> <tr> <td>・ホームページの整備と管理</td> <td>アクセス数 31,275件</td> <td>32,000件</td> </tr> </table> <p>○企画、展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・としょかんおみくじ (新企画) 年明けに「図書館おみくじ」を行って読書活動の推進を図った。 貸出者を対象。おみくじには運勢のほかお薦め本のタイトルが記載してあり、次回来館の際に興味を持っていただけるよう工夫した。 (大人用 500枚うち 250枚選書 子ども用 100枚) ・子育て支援関連コーナーの設置 (新展示) ・としょかん福袋 (年末 大人用 20袋、子ども用 20袋) ・おやこわいわいルーム (H24年度 238人利用/H23 207人) ・宇宙コーナーに関する本の展示 (H24年度 824冊貸出/H23 682冊) ・ティーンズコーナーの設置 (H24年度 1,463冊貸出 H24/3月より) <p>○市や社会教育施設等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習・スポーツ振興課との連携：「子育て・家庭教育に関する本」の貸出 小学校向けと保育所向けの本2セット (1セット15冊) を各月ごとに施設へ設置 ・環境関連図書の展示、紹介、貸出 (6月 県環境企画班) ・男女共同参画関連図書の展示、貸出 (6月下旬 市民活力推進課) ・宇宙、宇宙開発、銀河連邦関連図書の展示・貸出 (9月、市民活力推進課) 			<貸出冊数>	個人貸出	団体貸出	合計	H24	152,594冊	9,250冊	161,844冊	H23	155,675冊	9,181冊	164,856冊		(H24)	(H23)	・レファレンス・サービス (参考調査)、読書案内	2,991件	2,109件	・リクエスト (予約) サービス	5,513冊	5,394冊	・障がい者サービス (家庭配本)	101冊	121冊	・県立図書館等公共図書館との相互協力	借受 533冊	485冊		貸出 507冊	414冊	・ホームページの整備と管理	アクセス数 31,275件	32,000件
<貸出冊数>	個人貸出	団体貸出	合計																																	
H24	152,594冊	9,250冊	161,844冊																																	
H23	155,675冊	9,181冊	164,856冊																																	
	(H24)	(H23)																																		
・レファレンス・サービス (参考調査)、読書案内	2,991件	2,109件																																		
・リクエスト (予約) サービス	5,513冊	5,394冊																																		
・障がい者サービス (家庭配本)	101冊	121冊																																		
・県立図書館等公共図書館との相互協力	借受 533冊	485冊																																		
	貸出 507冊	414冊																																		
・ホームページの整備と管理	アクセス数 31,275件	32,000件																																		

図書館講座

	事業内容	参加者数
H 2 4	大人のための朗読会（高校）	41 人
	懐かしの日本映画ポスター展	470 人
H 2 3	大人のための朗読会（高校）	54 人

○子どもの読書活動の振興

◇学校との連携・支援

出前おはなし会

	対象校	参加者数
H 2 4	小学校 6 校	353 人
H 2 3	小学校 5 校、ティーン・ビズセンター	352 人

一日図書館員（小学校 6 年生） 3 人
 学校図書館担当者研修会 12 人
 学校図書館への配本事業開始（新規）
 市内各小学校へ 50 冊 1 年間貸出

学校への希望図書の配本

	利用校数	利用回数	利用冊数
H 2 4	6 校	17 回	316 冊
H 2 3	4 校	14 回	216 冊

◇児童サービスの充実

おはなし会

	回数	参加者数
H 2 4	26 回	238 人
H 2 3	26 回	420 人

◇ボランティアとの連携

図書館劇場

	回数	参加者数
H 2 4	3 回	158 人
H 2 3	5 回	320 人

おはなし会【児童サービスの充実に記載】

○利用者満足度調査

	回答者	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	満足度
H24	278 人	126 人	95 人	49 人	7 人	1 人	4.22
H23	266 人	124 人	88 人	44 人	7 人	3 人	4.21

※評価は 5 段階。

「満足」は 5 「やや満足」は 4 「普通」は 3 「やや不満」は 2 「不満」は 1

<p>点 検 評 価</p>	<p> <input type="checkbox"/>目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/>目標をやや下回る <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る </p> <p>[説明]</p> <p>○貸出冊数の減少。(団体貸出は若干増加したが、個人貸出が減少)</p> <p>○学校及びボランティアの協力を受けながら子どもの読書活動の振興に努めた。</p> <p>○継続事業である高校生による「大人のための朗読会」を8月に開催した。(参加校は5校で、各校とも独自の取り組みで朗読を披露、本の楽しさを伝えていた。)</p> <p>○「図書館利用者満足度調査」において、全体的にみた図書館に対する満足度(5点満点中)は、24年度4.22で、23年度4.21を0.01上回った。</p> <p>○ビデオ映写会を月1回から2回(午前・午後)に増やし、名画や郷土の記録に触れてもらいつつ、原作本や関連本に興味を持っていただけるようにした。</p> <p>○市内在住コレクターと連携し、昭和の日本映画ポスター展を開催し、来館者に原作本や関連本にも興味を持っていただいた。(10月3日間 来館者数 470人)</p> <p>○新企画「図書館おみくじ」を行って読書活動の推進を図った。</p> <p>○カウンターに除菌BOXを設置し、本の衛生化に努めた。</p> <p>事業としては、目標を上回る実施だったが、貸出冊数等の減少は図書館利用者全体の減少の結果であるとも考えられる。</p>
<p>課 題 及 び 今 後 の 取 組 の 方 向 性</p>	<p> <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他 () </p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>○市民の学習要求及び利便性に応えられるよう図書資料の充実を図る。 (図書3,900冊購入予定。所蔵のない図書は相互貸借制度で他図書館から借受)</p> <p>○学校や家庭、関係機関との連携を図りながら、読書活動の充実に向けていく。 (県で選定した推奨図書50選を冊子とともに展示し貸出を行い、「家族で読書」活動を推進していく。)</p> <p>○「家読(家族で読書)」推進のため、講師による講座を検討する。</p> <p>○痛みの激しい図書や資料価値のなくなった図書について、除籍を進めていく。</p> <p>○年々増加する図書資料に対応するため、書庫の収容スペースの検討を行う。</p> <p>○放送大学と連携し、講座の開催を検討する。</p> <p>○「宇宙関連」、「国民文化祭関連(能代市関係の茶道、現代舞踊、ミュージカル)」、「家読関連」、「健康関連」を意識した図書の購入を図る。</p> <p>○多様化する住民ニーズに効果的かつ効率的に対応し、住民サービスの向上を図るため指定管理者制度導入の検討を行う。</p>

<p>学 識 経 験 者 の 意 見</p>	<p>① 個人貸出数など、若干の項目で減少が見られるが、「としょかんおみくじ」「としょかん福袋」、種々のコーナー設置、市や社会教育施設との連携など、様々な取り組みがなされており、高く評価できる。今後とも、学校その他の連携を深めていくように期待する。</p> <p>② 指定管理者制度については、メリット、デメリットを踏まえ、慎重に検討していただきたい。</p> <p>□1 特色ある蔵書づくりの一環として「小惑星探査機はやぶさコーナー」を設置したり、新企画・展示として「としょかんおみくじ」や「子育て支援コーナー」を設置したりするなど、読書活動を推進するための工夫がなされている。</p> <p>□2 利用者満足度調査の結果（4.22）は、おおむね良好であると思う。今後とも、市民の読書に関するニーズを把握しながら、一人でも多くの方が本に親しみ、読書を楽しめるような図書館運営にあたってほしい。</p>
----------------------------	---

施策の項目	(6) 気軽に交流できる環境づくり																						
方針・目標	市民の興味や関心を高めるような、施設を利用したイベント・講座を提供し、子どもから大人まで幅広く気軽に交流できる子ども館を目指す。																						
目標値	JAXA、他機関との連携を強化し、展示物等の充実を図る。																						
事務事業の実績	<p>○利用状況の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24年度</th> <th>H23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総利用者数</td> <td>34,991人</td> <td>34,379人</td> </tr> <tr> <td>プラネタリウム観覧者数</td> <td>5,177人</td> <td>6,280人</td> </tr> <tr> <td>事業活動参加者数</td> <td>(100件) 7,473人</td> <td>(124件) 7,672人</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 備考 24年7～8月のリニューアル工事期間中入館者数調べ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24年</th> <th>H23年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月</td> <td>3,139人</td> <td>5,293人</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>3,133人</td> <td>3,265人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○新規イベント・講座 (2件 326人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・星空めぐり (12回 319人) ・小友沼の冬鳥観察会 (11/17 7人) <p>○特別イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金環日食観察会 (5/21 200人) ・親子で宇宙パートⅡ「JAXAの今 ロケットと人工衛星」 (5/5 50人) <p>◎銀河フェスティバル in 能代 (9/8～9 1,700人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛ばそう「能代から」水ロケット (2日間 120人) *JAXA 能代ロケット実験場開設 50周年記念事業 *子ども館リニューアルオープン *銀河連邦友好交流 25周年記念事業 ・プラネタリウム無料上映 (6回 272人) <p>○宇宙科学への関心を高め、来館者のニーズに応える工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇宙検定の実施 25/5月末現在 上級5人 中級70人 初級100人 内容：JAXAのHP上で実施している宇宙検定を参考に作成 ・展示室のガイド 			H24年度	H23年度	総利用者数	34,991人	34,379人	プラネタリウム観覧者数	5,177人	6,280人	事業活動参加者数	(100件) 7,473人	(124件) 7,672人		H24年	H23年	7月	3,139人	5,293人	8月	3,133人	3,265人
	H24年度	H23年度																					
総利用者数	34,991人	34,379人																					
プラネタリウム観覧者数	5,177人	6,280人																					
事業活動参加者数	(100件) 7,473人	(124件) 7,672人																					
	H24年	H23年																					
7月	3,139人	5,293人																					
8月	3,133人	3,265人																					

点 検 評 価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る [説明] ・リニューアル後、JAXA よりロケット模型展示、ロケットの仕組み、歴史、能代との関わり等の2階展示室の充実は、来館者への訴える力は大きく、科学への興味を高めるものとなり、今後は幅広く活用できるものになった。また、1階展示室の充実に力を入れ、科学館として特色ある施設の役割に期待できる。
課 題 及 び 今 後 の 取 組 の 方 向 性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他 () [具体的な課題及び取組] ・科学全般にわたり、より専門性(外部講師)をもったJAXA,秋田大学、諸機関との連携を図り、児童・生徒や一般の方にも情報提供と気軽に施設の利用目的に配慮した事業、イベントを実施していく。 25年度主な予定事業 ア コズミックカレッジ (JAXA 宇宙教育センター) 小学生 イ 宇宙教育指導者養成講座 (JAXA 宇宙教育センター) 一般 ウ ロケット制作 (秋田大学) 小・中学生 エ 宇宙(惑星)の世界 (JAXA) 小・中学生、一般 オ 観察会、講座(市民による団体、講師) 幼・小中学生、一般 ・25年度から理科指導主事配置による、学校教育と整合性をもった活動を視野に入れた講座の実施。
学 識 経 験 者 の 意 見	① リニューアル後の展示室の充実や、JAXA、秋田大学等との連携が図られており高く評価できる。理科指導主事の配置による学校教育との連携の充実も期待される。 ② リニューアル工事が期間があつたにもかかわらず、総利用者数が前年度よりも増加している。リニューアルによって、ロケットの模型やロケットの仕組みなどが、分かりやすく展示され、来館者の興味と関心を高めた結果と思う。 ③ 平成25年度から理科の指導主事が配置されたことにより、これまで以上に来館者への専門的な情報提供が可能となる。これを機に利用者がさらに増えることを期待したい。

4. 市民体育

【生涯学習・スポーツ振興課】

施策の項目	(1) スポーツを楽しめる環境を整える
方針・目標	健康増進や生きがいづくりなど、幅広い年代層の多様なニーズに応じた生涯スポーツを進めていくため、地域の交流活動を推進する総合型スポーツクラブの設立やスポーツ活動の推進への支援、各種スポーツ大会の支援など、スポーツを楽しめる環境を整える。
目標値	<p>①総合型地域スポーツクラブ新規設立数＝1</p> <p>②生涯スポーツの振興事業参加者数 ＝ 5, 130人 ※算出根拠/平成24年度能代市生涯学習関連事業における参加予定人数</p> <p>③きみまち二ツ井マラソン大会＝ マラソン申込者数 2, 064人 ※算出根拠/平成23年度第17回大会 マラソン申込者数</p> <p>④のしろ歩け歩け大会＝100人 ※算出根拠/平成22年度までの募集人数（23年度は陸上競技場改修のため中止）</p> <p>⑤スポーツ少年団＝ 42団・団員1, 206人・認定指導員451人 ※算出根拠/平成23年度登録実績</p> <p>⑥能代市栄光賞〔スポーツ部門〕＝ 254人 ※算出根拠/平成23年度受賞者数</p> <p>⑦体育施設利用件数・利用者数 ＝ 9, 180件 327, 886人 ※算出根拠/平成23年度実績数値</p> <p>⑧体育施設の指定管理</p>
事務事業の実績	<p>①常盤の里スポーツクラブ（平成19年度認定）及び二ツ井きみまちスポーツクラブ（平成21年度認定）、東能代にこにこスポーツクラブ（平成23年度認定）の活動を支援した。</p> <p>②ニーズや能力に応じた活動の場の確保や多彩なプログラムを提供し、継続的なスポーツ活動の普及、振興を図るため、各種スポーツ教室や各種大会を開催した。事業は、教育委員会の直営による事業やNPO法人能代市体育協会等スポーツ団体への委託により実施した。 事業の参加者の意向をアンケート調査し、今年度の事業に反映させたところであるが、5,324人（前年度比216人の減）の参加となった。米代川カヌー体験（参加者100人）など新たな事業を各種団体と連携して実施し、スポーツ活動の普及に努めた。</p> <p>③10月の第3日曜日とその前日の土曜日の二日間「きみまちの里フェスティバル」として、きみまち二ツ井マラソンと物産フェアを開催している。きみまち二ツ井マラソンの申込者数は、1,991人、ほかにオープン参加者125人となった。</p> <p>④のしろ歩け歩け大会は、「風の松原」とその周辺をウォーキングし、健康・体力づくりを図るとともに、相互の親睦を深めることを目的に実施している。 募集人数は100人だったが、69人の参加者となった。</p> <p>⑤スポーツ少年団活動は、小学校部活動の社会体育化に伴い、地域に密着したスポーツクラブとして、青少年の心身の健全育成を目指して活動を広げている。平成24年度は47団、登録団員1,173人、認定指導員425人となった。スポーツ少年団本部事業のスポ少交流大会参加者は201人となった。 また、平成24年度は、能代市スポーツ少年団創立40周年であり、記念事業として、記念講演会（152人参加）を開催した。</p>

	<p>⑥能代市栄光賞は、市のスポーツ振興を目的に、全国・東北・全県大会で優勝した児童生徒を対象に栄光賞楯の授与を行うもので、平成24年度は230人が対象となった。</p> <p>⑦体育施設の利用件数は12,548件(前年比3,368件増)で、利用者数は311,733人(前年比16,153人減)となった。件数増の主なものは、体育館の団体利用、個人利用が増えたことがある。利用者に安全・安心な施設提供ができるよう営繕に努め、効率的・効果的な施設活用を図り、スポーツ意識の高揚を図った。</p> <p>⑧能代市総合体育館等21スポーツ施設に指定管理者制度を平成24年4月1日から導入した。指定管理者としてNPO法人能代市体育協会が、基本協定書等に基づき、スポーツ施設の管理運営とスポーツの普及・振興事業等を展開している。(自主事業 11教室 6事業)</p> <p>利用者へのサービス向上のための取組として、ホームページ開設、広報紙発行等を行っている。</p> <p>スポーツクラブの育成と活動の振興を図ることを目的とした登録スポーツクラブ制度(指定管理者に事業を委託)により、体育施設の利用を円滑にし、効率的な施設運営を行っている。(H25.3.31現在、クラブ数110・登録者数2,085人)</p>
<p>点 検 評 価</p>	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/>目標をやや下回る</p> <p><input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>[説明]</p> <p>①「東能代にこにこスポーツクラブ」や「常盤の里スポーツクラブ」「二ツ井きみまちスポーツクラブ」への活動に向け、指導者の派遣等の支援が有効であった。</p> <p>②各種スポーツ教室や事業の開催にあたり、ますます多様化・高度化する市民のスポーツニーズを把握し、それに沿った事業展開を図った。NPO法人能代市体育協会やスポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブ等の主管により、効率的な事業運営がなされた。</p> <p>③きみまち二ツ井マラソン大会は、18回になり、マラソン参加者数が2,116人で、市外からの参加者が1,379人となっており、マラソン大会として認知度が高まっている。</p> <p>④のしろ歩け歩け大会は、参加者が募集人数に届かなかったが、ウォーキングの普及につながっている。</p> <p>⑤スポーツ少年団の活動は、児童の心身の健全育成を図るものとして、団員数は減少してきているが、活動は活発となっている。</p> <p>⑥能代市栄光賞は、児童生徒のスポーツを通じた自己実現、競技力の向上につながっている。</p> <p>⑦体育施設の利用件数の増加は登録スポーツクラブ、個人利用によるもので、スポーツに親しむ人の増加傾向がみられる。利用者数の減は、24年度は、全国、東北規模の大会が少なかったことも要因となっている。</p> <p>⑧指定管理の初年度ということで、指定管理者との事務手続きで遅滞等があったのがみられたが、施設の維持管理、委託事業、自主事業、利用者へのサービス向上の取組、安全対策などの業務が適切に行われている。</p>

Ⅲ 教育委員会の運営状況

(1) 教育委員会の開催状況

① 開催状況

定例会 12回 臨時会 4回

② 審議された案件等

開催日	区分	番号	件名
H24. 4. 26	定例会	議案第34号 議案第35号 議案第36号 報告第5号	教育長職務代理者の指定について 能代市立小、中学校、能代商業高等学校学校評議員の委嘱について 能代市公民館活動協力員の委嘱について 能代市奨学選考委員会委員の委嘱について
H24. 5. 24	定例会	議案第37号 議案第38号 議案第39号 議案第40号 議案第41号 議案第42号 報告第6号 報告第7号 報告第8号	能代市社会教育委員の委嘱について 能代市公民館運営審議会委員の委嘱について 能代市子ども館運営協議会委員の委嘱について 能代市文化会館運営協議会委員の委嘱について 能代市文化財保護審議会委員の任命について 第2次能代市社会教育振興中期計画の策定について 能代市生涯学習奨励員の委嘱について 専決処分した平成23年度能代市一般会計補正予算について 専決処分した平成24年度能代市一般会計補正予算について
H24. 5. 28	臨時会	協議5 協議6 協議7	能代市立学校条例の一部改正について 能代市公民館条例等の一部改正について 平成24年度能代市一般会計補正予算について
H24. 6. 28	定例会	議案第43号 議案第44号 議案第45号 議案第46号 議案第47号	能代市個人演説会の設備の程度及び候補者が納付すべき費用の額に関する規則等の一部改正等について 能代市教育委員会事務決裁規程の一部改正について 能代市立能代商業高等学校教育職員表彰規程の廃止について 能代市立小、中学校、能代商業高等学校学校評議員の設置に関する要綱の一部改正について 能代市立図書館協議会委員の任命について
H24. 7. 23	定例会	報告第9号	能代市青少年問題協議会委員の委嘱について
H24. 8. 27	定例会	議案第48号 協議8 報告第10号 報告第11号 報告第12号	能代市教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について 平成24年度能代市一般会計補正予算について 能代市スポーツ少年団各種大会出場費補助金交付要綱の一部改正について 能代市生涯学習推進協議会委員の委嘱について 能代市青少年問題協議会委員の委嘱について
H24. 9. 27	定例会	議案第49号	能代市心身障害児就学指導委員会委員の任命について
H24. 10. 31	定例会	議案第50号	能代市立図書館協議会委員の任命について
H24. 11. 27	定例会	協議9 協議10	能代市農林漁家婦人活動促進施設の指定管理者の指定について 平成24年度能代市一般会計補正予算について
H24. 12. 21	定例会	議案第51号	能代市就学援助費支給要綱の一部改正について
H25. 1. 24	定例会	なし	
H25. 2. 19	定例会	議案第1号 協議1 協議2	第2次能代市社会教育振興中期計画について 平成24年度能代市一般会計補正予算について 平成25年度能代市一般会計予算について
H25. 3. 5	臨時会	議案第2号	平成25年度能代市立小・中学校教職員の人事異動について
H25. 3. 8	臨時会	議案第3号	平成25年度能代市立能代商業高等学校教職員の人事異動について
H25. 3. 25	臨時会	議案第4号	平成25年度能代市教育委員会関係職員の人事異動について
H25. 3. 28	定例会	議案第5号 議案第6号 議案第7号 議案第8号 議案第9号 議案第10号 議案第11号 議案第12号 議案第13号 議案第14号 議案第15号 議案第16号 議案第17号 議案第18号 議案第19号 議案第20号 議案第21号 議案第22号	能代市公民館の管理運営に関する規則等の一部改正について 能代市学校医の委嘱について 能代市教育相談員の委嘱について 能代市心の教室相談員の委嘱について 能代市特別支援教育アドバイザーの委嘱について 能代市社会教育指導員の委嘱について 能代市子ども館館長の任命について 能代市子ども館指導員の委嘱について 能代市スポーツ推進委員の委嘱について 平成25年度能代市教育委員会の重点目標について 平成25年度能代市学校教育指導の重点について 平成25年度能代市公民館運営方針について 平成25年度能代市文化会館運営方針について 平成25年度能代市立図書館運営方針について 平成25年度能代市子ども館運営方針について 平成25年度能代市勤労青少年ホーム運営方針について 平成25年度能代市働く婦人の家運営方針について 平成25年度能代市市民体育基本方針について

年月日	区 分	番 号	件 名
		報告 第 1 号	能代市青少年問題協議会委員の委嘱について
		報告 第 2 号	平成 2 5 年度能代市生涯学習推進方針について
		報告 第 3 号	平成 2 5 年度能代市青少年健全育成活動方針について
		報告 第 4 号	平成 2 4 年度能代市一般会計補正予算について

(2) 教育委員の活動状況

年月日	行 事
H24. 5. 29	平成 2 4 年度全州市町村教育委員会委員長・教育長会議 (第 1 回)
H24. 7. 12	平成 2 4 年度東北六州市町村教育委員会連合会定期総会及び教育委員・教育長研修会
H24. 10. 13	能代市立能代商業高等学校創立 9 0 周年記念式典
H24. 10. 18	平成 2 4 年度全州市町村教育委員会委員長・教育長会議 (第 2 回)
H24. 11. 1	秋田州市町村教育委員会連合会平成 2 4 年度委員研修会
H24. 10. 24 ～11. 28	教育長学校訪問への教育委員の同行 (淳城西小、淳城南小、第四小、第五小、浅内小、二ツ井小、能代東中、能代南中、二ツ井中)

能代市教育委員会事務点検・評価報告書
(24年度対象)

能代市教育委員会

〒018-3192

能代市二ツ井町字上台1番地1
(担当 教育総務課)

電 話 0185-73-2757

FAX 0185-73-6459

E-mail kyouiku@city.noshoro.akita.jp